



ここ神河町は古代より、歴史深い地です。

福本遺跡

福本地区南部に位置する約一万三千年前の旧石器時代から奈良時代に続く、県下でも類の少ない重要な複合遺跡として知られています。旧石器時代の石器、播磨地域では初とされた縄文時代早期の押型文土器、弥生時代から古墳時代にわたる竪穴式住居址群、白鳳～奈良時代に大量に焼かれた瓦類と窯址群などの貴重な出土品が多く、平成22年3月5日に兵庫県指定文化財・史跡に認定されています。

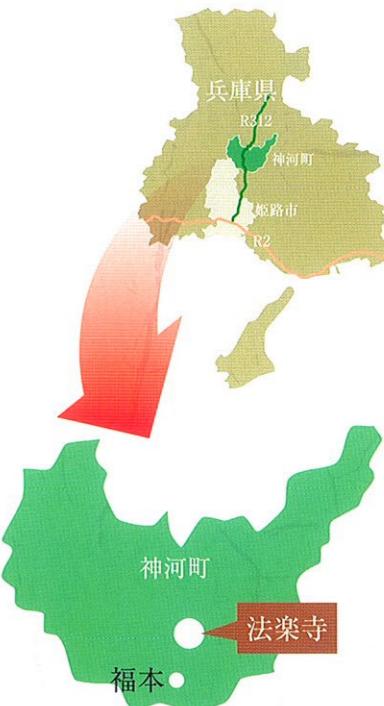
その1 枚夫長者の伝承地

大化の改新前、「播州の犬寺」の縁起物語ゆかりの地。現在も忠犬の墓とされる石造りの五輪塔と宝篋印塔が残されています。鎌倉時代末期、後醍醐天皇の頃に書かれた仏教史書『元亨釈書』に記されています。



犬塚
白五輪と伝わる総高90cmの石造五輪塔、黒五輪と言われる総高168cmの石造宝篋印塔とともに長者屋敷址の裏山頂にまつられている。創建は南北朝時代と推定され(安永4年の山絵図面に記載)、神河町文化財に指定されている。

福山の里
枚夫長者が住んでいたと伝えられる屋敷址に「坪之内」と呼ばれる地神あり。



“一万石の城下町”福本陣屋の跡

江戸時代の初頃、池田輝政の孫・松平政直がこの神崎郡北部他で一万石の領知を賜ったことから、ここに福本藩陣屋を構えてより明治初年に至るまでの約200年間、この地は江戸に直結した政治・経済・文化の中心地でした。



歴史観光ガイドと一緒に歩く
かんざき歴史ウォーク

要予約申込

ガイド料(ただし資料代) 1人100円(最少催行5人から)

また来てや!ほんまにええとこ かみかわへ 一高原・名水・歴史にふれあうまち一

お申込・お問合せ先 神河町観光協会

〒679-3112 兵庫県神崎郡神河町鍛冶142番地47(カーミンの観光案内所内)

TEL. 0790-34-1001 FAX. 0790-34-0777

Eメール kanko@mail.town.kamikawa.hyogo.jp

ホームページ <http://kamikawa-hyogo.web5.jp>

播州犬寺 法楽寺案内図



神河町指定文化財
金樂山法樂寺（播磨西国三十三ヶ寺第十五番札所）

鎌倉時代、京都五山の上とされた南禅寺の住持を務め、国師号を受けた高僧「虎闘師鍊」が元亨二年（1322）に仏教史書「元亨釈書」を著し、寺像志篇の内に靈験新たかな観音の功德を説き、当時著名な三十ヶ寺の縁起を述べる中で、「播州犬寺」（法楽寺）を紹介しています。



④開山堂

創建年不詳、境内で最も古い建物です。堂内には木造の開祖・法道仙人像と枚夫長者と忠犬二頭の像が収められています。



春日社

奈良の春日大社の社領がこの地に500石ほどあつた関係でまつらされている。



②絵馬

左の二額は長者の危機を白・黒二犬が救うセット。下の一額は安政3丙辰年表参道石段完成時の奉額（中村屋竹内氏）



③なで仮

お釈迦さまの高弟十六羅漢の一人であるが神通力が優れ疎まれて外陣に座す。賓頭盧尊者と謂われるも俗称は「なで仮」。治したい体の箇所をなでると患部がよくなると言われている。



⑥朱印倉

徳川三代將軍「家光公」より三十石を賜わった朱印安堵状と姫路藩主池田輝政公よりの永代三十石黒印状が収められている。外壁表面には徳川家の紋章が飾られている。



※法楽寺の梵鐘、山門、本堂、庫裏、鐘楼、開山堂、春日社、神馬図絵馬はいずれも神河町指定文化財です。
また、本堂及び春日社は兵庫県指定文化財です。

六百四十三 年飛鳥へ従軍

第35代皇極女帝の時代、曾我入鹿が故聖徳太子の子息、山背大兄王討伐の際、都にまで名声が伝わっていたのか福山の里に住む枚夫長者は召されて兵を率い飛鳥へ遠征、功をたて凱旋。留守中に長者の妻と下僕が密通していた。

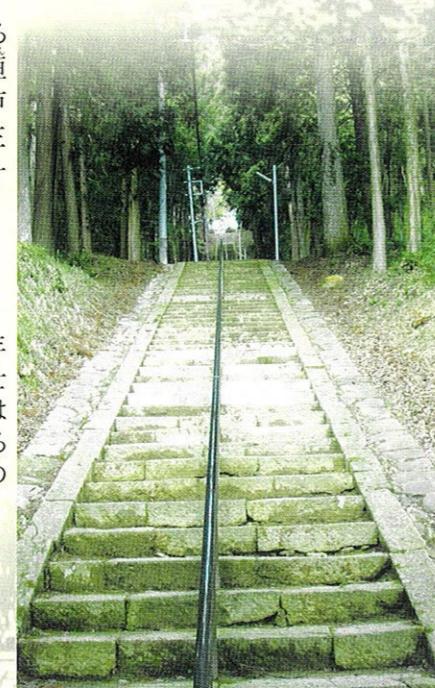
二 頭の忠犬

この露見を恐れた下僕は狩猟を好む長者を偽って裏山深くへ誘い殺そうと企む。長者は白・黒二犬に自分の糧を与え我の言うことをよく聞け、今、自分はここで死ぬがその屍を残すことなく噛んでほしいと、長者が言い終るや、一犬高く躍り下僕の弓弦を、又一犬躍り喉を噛みて殺す。長者、二犬を以て子となすも畜の命短し、伽藍建立、千手大悲像を安して冥福を薦める。



三十 石の傍証

法道仙人開山の伽藍、三度の野火迫るも千手觀世音菩薩像なきを第50代桓武天皇のお耳に達し、「官寺」となり江戸時代、姫路藩主池田輝政公より永代三十石黒印状、三代將軍家光公より三十石朱印状を賜わる。



①白、黒犬像



檜皮（ひわだ）

表参道の両域、広大なる境内一帯に300年以上と目視できる檜の群生。全国有名社寺の檜皮葺き替え用にと貴重な表皮を提供されています。（県下では希有）

⑨仁王門

天正年間（約1540年ほど前）に再建。門の右と左には金剛力士像が建立された。

仁王

木造の金剛力士像。右にあるのが口を開いた阿形（あぎょう）像。左にあるのが口を閉じた吽形（うんぎょう）像。手に金剛杵（こんごうしょ）を持ち、二体並んで門を護るので二（に）王（おう）・仁王とも呼ばれる。



⑧上段の間

安政5年に再建された庫裏には福本藩主が参詣時に着座なされた上段の間があり、寺格が偲ばれる。

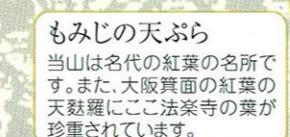
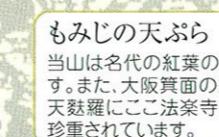
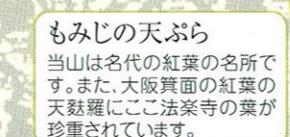


⑦庭園

庭師は定かでないが方式に則ったと思われる石組み遊遊庭園は藩主も上段の間から賞賛なされたことだろう。

六百五十一 の石段

朱塗り橋を渡ると約430年前、天正年間に再建と伝えられる木造の金剛力士像、右側は口をひらいた阿形像、左側は口をとじた吽形像、二体並んで門を護る仁王門から金堂まで安政3年に251段の石段が造られ参拝者の気をひきしめる。



もみじの天ぷら

当山は名代の紅葉の名所です。

また、大阪貧困の紅葉の天麩羅にここ法楽寺の葉が珍重されています。

（県下では希有）

（県下では希有）